

3月定例市議会 一般質問から

伊那市議会3月定例会の一般質問は、対面式・一問一答方式により、3月10日、11日、12日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

ウエストスポーツパーク 管理センターの閉鎖について

問 宮島良夫議員 新しい管理センター建設にあたり、スポーツクラブから代表者を会議の一員に入れるべき。

答 市長 これまでと同様、利用団体などから要望や提案をいただく中で考える。

来年度の予算編成

問 宮島良夫議員 給与関係費は給与単価に地方公務員数を乗じて計算される。職員削減が進んでいるが交付税の削減に拍車をかけているのでは。

答 市長 人員削減による交付税削減はない。全国的な行政改革の進展による交付税削減が行われた場合の対応は。

臨時非常勤職員の待遇改善

問 宮島良夫議員 正規職員を充てるべき恒常的業務に臨時非常勤職員を就けていることを踏まえ、正規職員との「均衡・均等待遇」の考えのもと、待遇を改善していくべき。

答 市長 民間や周辺団体の状況を参考に、より適切なものとなるよう努める。

環状南線の 立体交差について

問 宮島良夫議員 今後20年30年先を考えたとき、立体交差にするべきでは。

答 市長 合併特例債を活用できる32年度までに完成させるには平面交差の選択しかない。

市営住宅の環境整備

問 前田久子議員 ①若宮団地は高齢者、外国人が半数以上を占める上、耐用年数をはるかに上回っている。住環境などの整備が必要。凍み上がった開かないドア、ぬかるんだ道路など冬の対策は。②孤立者をつくらないための定期的な声掛け、見回りについて考えは。③全国的に公営住宅の見直しをしているが、市も旧態依然とした形ではなく、発想の転換が必要。市営住宅の建て替えについて、どのような構想を持っているか。

答 市長 ①団地通路の凍み上がりは対処の手立てがなく、今後も修繕で対応する。②保健師の訪問や地域見守りネットワーク事業による見守りや緊急時の連絡体制を整えている。③将来的に建て替える予定。財政状況を見ながら建て替え時期、場所など総合的に判断する。

孤立死対策に 緊急通報装置の拡充を

問 前田久子議員 広く幹旋すべきだが考えは。

答 市長 市が設置費を助成するのは一人暮らしと高齢者のみ世帯のうち、市民税非課税世帯としているが、利用料金については市が福祉料金対象者であることを証明すれば助成対象外の方も同額で利用できる。

移住・定住促進策

問 飯島尚幸議員 移住・定住促進策として、新築住宅の場合、地方税法の規定外の部分を市独自が配慮し、3年間は課税を免除するなどの新制度創設を提案する。その場合、新築の発注業者は市内業者へ、また建築資材の材木は市内産を使うことを条件とするもので、住宅需要を喚起し、地域経済の活性化が期待できるか。

答 市長 課税を免除すると、その分が税収減となる。過疎地域の住宅新築補助は行っているが、全市にわたって個人財産の形成につながる支援制度の創設については、有効性や公平性、継続性など十分に考慮し、慎重に対応する必要がある。

市消防団の充実について

問 飯島尚幸議員 昨年の臨時国会での消防団支援法の成立を受け、報酬引き上げなど処遇の改善を求めるが。

答 市長 消防団員への支援は大変重要。報酬など現状は県内19市の中でも高水準と思われる。すぐに見直す予定はないが、各市の状況を見極める中で必要に応じて見直したい。



伊那市消防団春季訓練

人口も「みも減っているのに なぜ推計ごみ量は増えるのか

問 前澤啓子議員 上伊那の人口は減少を続け、高齢化率も上がっているが、ごみは減少を続けている。それなにごみの年間排出推計は25年

度から増加に転じるとしている。理由として世帯数が増え高齢化が進むからとしているが根拠はなにか。

答 市長 少子高齢化が進むと少人数の世帯が増える。川崎市の調査で世帯の構成人員が多い方が一人当たりのごみの量が少ないという報告がある。

ストーカ炉に変更し雇用を 増やす方向転換を

問 前澤啓子議員 クリーンセンター八乙女を延命したとしても、30年でいっばいになり、しかもガス化炉ではごみも減らず、30年後にまた同じことを繰り返すことになる。運転はメーカー委託となり雇用が失われる。価格も高く税金の無駄遣いだ。南信州広域では建て替えにあたりガス化炉からストーカ炉に変更している。

答 市長 全ての方式を検討した結果、最終処分場がないので溶融炉方式に決定した。民間委託は安全性などメリットが大きく、多くの職員を地元から採用している。最終処分場を新たに造ることは地元の理解が容易に得られない。

高齢者などの福祉対策

問 平岩國幸議員 ①市の後期高齢者は一人を超えた。この高齢者に対する福祉対策の考えは。②民間事業者との協定による高齢者や障がい者などに対する今後の取り組みについて考えは。③地域見守りネットワークのこの一年間の状況は。④高齢者が増加する中で保健師の充足が必要と考えるが。

答 市長 ①現在の伊那市をつくってきた高齢者を尊敬し、大切にすることを基本に諸施策を行っていきたい。②見守りネットワークの協定事業者の拡大を図り、民生児童委員や近隣の皆さんの協力をいただき見守り活動の強化に努めたい。④高齢者や障がい者、健康に不安がある方のごとくに保健師が訪問することは大切な業務。今後課題となる地域包括ケアへの取り組みの中で、訪問や相談活動の充実を図りたい。

保健福祉部長 ③協定後の1年間に2件の死亡事故が確認された。また病院への搬送が



知恵袋事業で「しめ縄作り」を子どもたちに教えている様子

文化的施設の 非正規職員について

問 平岩國幸議員 文化的施設の非正規職員の勤務年限の延長についてその後の検討はどうなったか。

答 市長 嘱託の制度を含め検討したい。

伊那中央病院の 差額ベッド代と里帰り出産

問 柳川広美議員 病院は24年度決算で7億5000万円と大幅黒字。差額ベッド代を下げるべき。紹介状の費用を市で補助を。里帰り出産できるよう医師確保を。

答 市長 累積赤字もあり、医療機器更新などに財源が必要。差額ベッド代は高いとは言えない。紹介状は外来

患者の集中を避けるため。産婦人科医師確保には取り組んでいく。

「子ども子育て支援新制度」 における保育園の運営

問 柳川広美議員 新法で保育料と保育時間はどのようなのか。障がいなどを理由に入園を断ることはないのか。3歳未満児保育料の引き下げと公立保育園の存続を。



未満児保育の様子

答 市長 保育料は未定で、保育時間は変わらない。いづれも条例で定める。障がいを理由に入園を断ることはない。3歳未満児は費用がかかる。公立保育園の果たす役割は大きい。一方で多様な保育の提供も必要である。

子どもの医療費の自己負担 5000円と窓口無料について

問 柳川広美議員 県に対して窓口無料の意見を。高校3年生まで医療費無料に。

答 市長 窓口無料はコンビニ受診になる。医療政策審議会から中学3年までが妥当との答申あり。

伊那市の雪害対策

問 飯島進議員 ①今回の大雪で一人死亡、農業被害も甚大だったが、被災農家への対応は。②来年度、除雪機修理・修繕及び購入補助の申請増が見込まれるが。③雪捨て場を増やす考えは。④高遠・長谷両支所に災害警戒対策本部を設置できるよう防災計画見直しを。

答 市長 ①多大な被害が出て営農継続が難しくなることが一番心配。被災農業者の営農意欲を失わない支援を調整中。②除雪機補助で26年度は150万円を計上。③安全対策、施設管理などの条件が整わなければ確保は難しい。④有事の際は高遠・長

谷両支所に現地警戒対策本部を設置するよう防災計画見直しを進める。



倒壊したビニールハウス

「絵島事件300年」について

問 飯島進議員 ①絵島事件から300年で市として何か行わないか。②伊那市観光協会推薦曲「高遠さくら悲恋」の有効活用を。

答 市長 ①観桜期にあわせ絵島事件300年をPRする。②推薦曲は、有効活用を考えたい。

支所の設置について

問 橋爪重利議員 高齢者が安心して生活できるよう長藤・藤沢・三義に支所の設置を。設置不可能なら高速第

問 柴満喜夫議員 ①この4年間の成果は。②これからの取り組みは。

答 市長 ①財政健全化では、目標を上回る改善ができた。未収金回収では、約17億円あった未収金が約7億円まで減る見込み。市民との対話では約3200人の方と対話ができた。また高齢者支援、農業・観光振興など、さまざまな分野に取り組み成果が出ている。②引き続き総合計画に基づき展開していく。特にリニア新幹線を見据えた新しいまちづくりを行う。

JR飯田線活性化期成同盟会について

問 柴満喜夫議員 JR飯田線伊那北駅無人化によるワークシヨップ進捗状況は。

答 市長 若い人を中心としたワークシヨップの提案をもとに、順次事業化している。

総務部長 伊那北駅は公衆無線LANの整備を進め、情報通信環境のサービスをを行う。

ハウス栽培農家への燃料補助を

2・3保育園が長藤診療所で住民票と印鑑証明書を交付した。

答 市長 地域自治区制度審議会を中心に、地域自治区、総合支所のあり方について審議する。各種証明書の発行は、地区職員が預かり対応している。

雪害対策について

■除雪について

問 橋爪重利議員 豪雪時には通常の除雪委託業者に加え、大型農機保有者へ依頼するなどの協力体制で基幹道路の通行確保を。

答 市長 除雪指定の基幹道路を優先して除雪している。あらかじめ、地域で協力体制を検討してほしい。

■農業支援について

問 橋爪重利議員 豪雪により農業離れが起きないか心配。営農意欲が失われることのないよう撤去費については国は5割負担、残りの5割を地方自治体が負担することを前提にしているが、県と市の対応は。

答 市長 営農の継続が心配。国へ要望活動を行っ

問 柴満喜夫議員 燃料価格が高騰しているが支援について考えは。

答 市長 国の動きに注視しながら、支援できるような情報提供をしていきたい。

ウエストパーク周辺防災エリア整備について

問 柴満喜夫議員 西町に計画している防災拠点施設の概要は。

答 市長 災害対策本部の代替施設、天竜川右岸の防災拠点施設、広域的受援施設として位置付ける。平時は防災知識習得講座やイベントを実施していく。



ウエストパーク周辺(西町区)

ナイスロードの今後の交通状況予測と対応

た。国は追加支援を発表。万全な支援ができるよう調整したい。

農林部長 パイプハウスの撤去費用は国が50%、県25%、市25%負担で追加補正を調整中。

豪雪による農業施設や道路交通関係などの被害状況

問 小平恒夫議員 ①大雪の被害農家への支援策をどのようにしていくのか。②大雪による道路などの破損はどのような状況であったか。

答 市長 ①国や県、上伊那と連携し、農業者が経営意欲を失わない万全の支援策を打てるよう調整している。3月の追加補正で対応できるよう検討する。

建設部長 ②除雪車による破損は3件。その他雪害により2件の破損を確認。早期修繕を行う。

環状南線整備計画について

問 小平恒夫議員 ①環状南線建設計画でJR飯田線との交差方法として平面交差、立体交差での検討をしているが、合併特例債の発行期

問 若林徹男議員 ①現状での交通量は。②消防の広域化、介護施設ごみ処理施設、リニア新幹線の開通などを見据えた市内道路網整備後の交通予測は。③農繁期などの農作業用軽トラック、トラクタの駐車帯や歩道などの設置を。④新ごみ中間処理施設の搬入路について、搬入車両の地区内通過が予想される。早めの対応を。

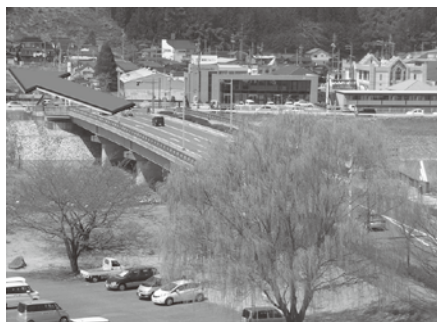
答 市長 ③危険な状況も認められるが、すべての耕作者を考慮した対応は難しい。農地にスペースを確保してほしい。④狭隘な道、住宅地を避けたルート設定が基本。今後稼動が具体的になってくる段階で関係者、地域との調整を図る。

建設部長 ①24年度調査では竜東線交差点で午前7時から午後7時までの通行で約1万1000台。②現在より3800台程度の増加が見込まれる。

大災害時に備えた対応策と組織づくり

問 若林徹男議員 東日本、東京直下、南海トラフ地

限や工期、維持管理面から平面交差での事業実施が良いと考えるが可能性は。②踏切新設が実現不可能になった場合、どう判断するか。その場合、既存の踏切拡幅による迂回などできないか。



延伸が計画される環状南線(伊那市役所最上階から撮影)

答 市長 ①平面交差が実現できるようこれからJR東海と協議していく。②そうしたことがないよう努力する。平面交差が不可能なら、建設は不可能と判断せざるを得ない。踏切の拡幅は新設と同様に難しい課題である。

入笠山について

問 中山彰博議員 ①市の観光地として発信していく考えは。②入笠牧場の存続

震などの災害に備え、消防団OBによる想定外災害時の救援組織づくりは。

答 市長 機能別団員制度の検討をした経過はあるがどのように支援してもらうか詳細に詰めていない状況。OBの皆さんは高い技術と知識を持ち自主防災組織で活躍している方も多い。機能別団員制度について引き続き検討していく。

西箕輪支所・公民館移転後の跡地利用

問 唐澤千明議員 ①既存建物解体後の跡地はどのような状態になるのか。②道路・環境部会では跡地について西箕輪診療所と西箕輪駐在所の移転を提案するが考えは。

答 市長 ①新しい支所、公民館の駐車場として整備する。当分の間、目的外での利用はできない。②西箕輪診療所は予約制のため駐車場は足りている。現状の体制を維持する。駐在所は誰でもわかる場所が望ましいが、現状では困難。③地域から要望の声が高

に対する考えは。③入笠と鹿嶺高原の豊かな環境づくりについての考えは。

答 市長 ①入笠山周辺を散策する人が増えており、トレッキングやマウンテンバイク、天体観測などでPRしていきたい。②JA上伊那など関係機関と入笠牧場のあり方について考えたい。③鳥獣害対策と森林整備を推進し環境保全に取り組む。

問 中山彰博議員 ①戸台大橋から戸台集落間は落石が多い。早急に落石防止工事を。②市道三峰川線の早期通行止め解除の見通しと、塩見岳への新ルートの早期開発は。

答 市長 ①南信森林管理署などと協力し、計画的に工事を進めていく。②危険箇所から工事を計画的に実施し、通行止めが早期に解除できるよう進める。登山道は適切なルートを現在探している。

市長就任4年間の成果とこれからの取り組みについて



建設が進む西箕輪地域交流センター(仮称)

消防団員の減少化に歯止めを掛けることについて

問 唐澤千明議員 ①新入団員の確保、募集に向けての取り組みは。②士気を高めるためにも報酬の見直しを望むが考えは。③婚活にもよい出会いの場として、女性消防団員増員への考えは。④信州大学生に2・3年間入団してもらう考えは。

答 市長 ①団員数の減少は憂慮すべきこと。地域防災力を高めるためにも確保に努める。②他市に比べ高いほうだが、各市の状況を見て必要に応じて見直しも考える。③男女共同参画の観点からも入

団を促したい。④積極的な勧誘に取り組みたい。

大雪に伴う災害への被害復旧支援策と道路などの除雪支援

問 飯島光豊議員 ①パイ

プハウスなどの撤去は被害額の全額を助成すべき。また復旧修繕費は被害額の9割を助成すべき。②被災者の自己負担分の融資を無利子化にすべき。③撤去廃棄物処理を無料にすべき。④各区で市道除雪にかかった燃料代などの負担を他市町村のように助成すべき。⑤除雪中に尊い生命が失われたことは痛恨の極み。除雪従事者に対して傷害保険や損害賠償保険に市は加入させるべき。

答 市長 ①国県の動きを見て市も行う。③無料回収は検討中。④各区に直接補助は考えていない。⑤自治会の保険には加入してほしい。

農林部長 ②無利子助成は県の支援制度の活用を検討している。

譲歩する姿勢が強まっている安倍内閣のTPP交渉について

問 飯島光豊議員 これまでどおり、TPP反対の

立場で、公約と国会決議を守れと国に求めるか。

答 市長 最終的には国民全体の合意が不可欠。政府は国民を裏切ることはないと信じている。

収入に比べて高い国保保険税の引き下げについて

問 飯島光豊議員 所得の15%に及ぶ国保税負担を解消するために法定外一般会計繰り入れを行って国保税を引き下げるべき。

答 市長 仮に国保が赤字に転じた場合、一般会計からの法定外繰り入れではなく、繰上充用を考えていきたい。

伊那市の教育方針について

■教育委員会制度改革について

問 黒河内浩議員 教育委員会議会制度改革が進行中で首長の権限が強化される。市長と市教委の関係のあり方が課題となるが、このことが今後の市の教育方針に影響があるか。

答 市長 連携を図り円滑な教育行政の推進に努める。

教育委員長 市長と市教委は定期的に意見交換を重ねてきているため食い違いはない。考えが異なる場合、熟議に努める。

■高遠高校の中高一貫校導入

問 黒河内浩議員 少子化の中で一貫した教育、先を見通した教育が要求される。その点で、地域校である高遠高校の存続のため中高一貫校の導入の検討を提案したい。同時に付属中では学校の規模のアンバランスの解消を図る措置を講ずるべきだ。

答 市長 高遠高校を存続させるために現在も検討を続けている。中高一貫については連携の形態や導入効果など研究しておく必要がある。

教育委員長 設置者が県と市で異なるが、市教委としても存続と振興についての提案を大事に受け止め、存続に向けた努力を支援していきたい。

■土曜授業について

問 黒河内浩議員 国の法改正で土曜日に授業することが可能になり、全国公立校の1割弱が各種形態の土曜授業を実施し始めている。市でも検討してみてもどうか。

答 教育委員長 土曜授業実施により授業にゆとりと幅ができる。学校現場の意見を聞き、市としての特色ある土曜授業の実施が可能か検討したい。

不登校について

問 唐澤稔議員 ①市の不登校の現状はどうか。②不登校の原因については。

答 教育長 ①この問題は学校教育の最大の課題。24年度は小学生15名、中学生44名の計59名である。ピーク時に比べ6割程度に減っている。25年度はほぼ横ばいと推測。②特定は困難。カウセンシングなどから学力不振、家庭の問題など複雑な要素が絡んでいる。いじめによる不登校は1%程度。

環状南線について

問 唐澤稔議員 ①J・R東海との交渉について、どのくらい進展しているか。②踏切が何箇所閉鎖されるのか。地元では一番心配している。③市道日影沢線拡幅工事の工期は。

答 市長 ①現時点では詳細は示せないが、来年度には具体的な計画協議に入りたい。27年度には実施に向けた協議を行い、32年度の完成を目標に進めたい。②新しい踏切は約16メートル幅となり、その付近にある踏切の必要性は下がるため、そうした箇所について閉鎖ということが発生する。

③県道南箕輪沢渡線交差点から沢地域交流センター前までの間を歩道設置する。来年度から地権者との具体的な交渉に入り、小黒川スマートインターチェンジ供用開始に間に合うよう進めたい。



市道日影沢線

ロコモティブ・シンドロームについて

問 二瓶裕史議員 ①メタボと並び深刻な社会的課題になるといわれている「ロコモティブ・シンドローム」について、市における現在の対応は。

②今後どのように取り組むか。

答 市長 ①筋力向上トレーニング教室などを開催し、ロコモの改善に努めている。②積極的にロコモ予防に取り組む。

検討中の案件、「その後」どうするか

問 二瓶裕史議員 ①ソフト事業のネーミングライツについて。②PR効果の高い「ご当地ナンバー（原付）」を導入しては。③歯科医院における定期健診への補助金を。④伊那市駅の発車メロディを「伊那市の歌」へ。⑤公式ホームページとツイッターについて。⑥イーナちゃんの積極的な活用を。

答 市長 ①当面は公共施設におけるネーミングライツに力を入れたい。②大変よい提案。引続き検討していく。③補助金は考えていない。多くの方が受診できるよう研究は進めていきたい。④ぜひ導入したいと思うJ・Rとも話をした

が難しい。⑤昨年9月議会に答弁したとおりの方針で本年10月にリニューアルをする。ツイッターなどについても検討している。⑥更に活用をしていきたい。



イベントで人気のイーナちゃん

大雪の教訓

問 若林敏明議員 今回の大雪では交通マヒや甚大な農業被害に加え死亡事故も発生し誠に残念だ。これを教訓に、ツイッターなど活用した迅速な情報収集、各区長と連携した指定業者の2次3次出動、住民による除雪計画の推進、除雪応援隊の結成、補助制度・補償制度の見直しなど検討すべき。

答 市長 全市的な積雪や道路の状況を把握する

移住・定住対策には婚活、子育て支援を

問 竹中則子議員 ①若者が定住するには、まず伴侶を得て安心して子育てや育児ができる環境整備を。②世代間支え合い家族支援事業の検討を。

答 市長 ①出会いサポートセンターへの登録を働きかけるとともに、J・A上伊那など婚活を推進している組織と連携して婚活を支援する。②同居の奨励は個人の生活スタイルに踏み込むもので難しい。ファミリーサポートセン

もったいない精神

問 竹中則子議員 「小型家電リサイクル法」に基づく不要小型家電の回収を。電を入手により選別し、業者に売却しており、既に再資源化の取り組みを部分的に行っている。不要小型家電を「ごみ」から「資源物」へ意識を変えていく取り組みは重要。他自治体の状況や費用対策など検討して総合的に判断したい。



子育て支援センターにて親子でおもちゃづくり

傍聴にお越しください

3月定例市議会は、61名の方が傍聴されました。定例市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」でご覧いただけます。次回6月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」6月号をご覧ください。

請願・陳情

請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。次回6月定例会審査の受理期限は、5月23日までです。（期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認のうえご提出ください。）